



MassCore システムで Foobar を起動して DSD ファイルを視聴する方法

* Foobar 及び そのコンポーネント、デコーダーは、著作権者および寄稿者によって提供されており、いかなる場合においても、著者または寄稿者は、直接的、間接的、付随的、特別、例示的、または結果的損害(代替品またはサービスの調達、使用、データ、または利益の損失を含みますがこれらに限定されません)に対して責任を負わないものとします。たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、契約上、厳格責任、または不法行為(過失またはその他を含む)にかかわらず、本ソフトウェアの使用から何らかの形で生じた原因および責任理論に基づくものとします。

準備

Foobar で DSDデータを再生するためには、下記の準備が必要です。

本文章では、以下の必要なファイルをインストールしてあるものとして説明します。

下記リンクは、弊社で試験を行ったバージョンがリンクされていますが、インストールの際は最新バージョンをお試しください。

コンポーネントのインストールは、[ここ](#) をご覧ください。

- [Foobar 2000 v2](#)(以降)のインストール
- [MAD](#)(V2以降)のインストール
- Foobar に [foo_out_asio.fb2k-component](#) をインストールする
- Foobar に [foo_dsd_processor.fb2k-component](#) をインストールする
- Foobar に [foo_input_sacd.fb2k-component](#) をインストールする

注意:”foo_dsd_processor.fb2k-component” と “foo_input_sacd.fb2k-component” は、”[foo_input_sacd-x.x.x.zip](#)” に同梱されています。



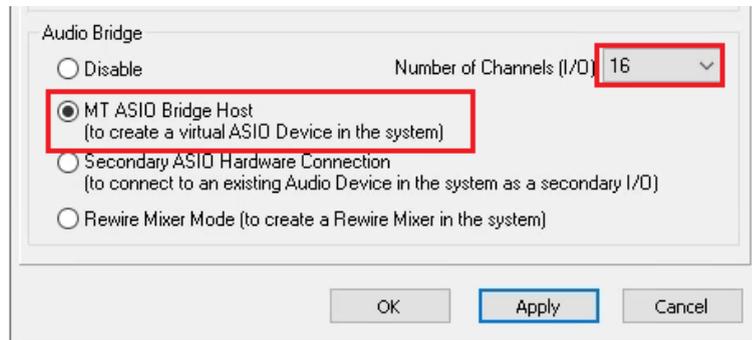
設定

注意事項

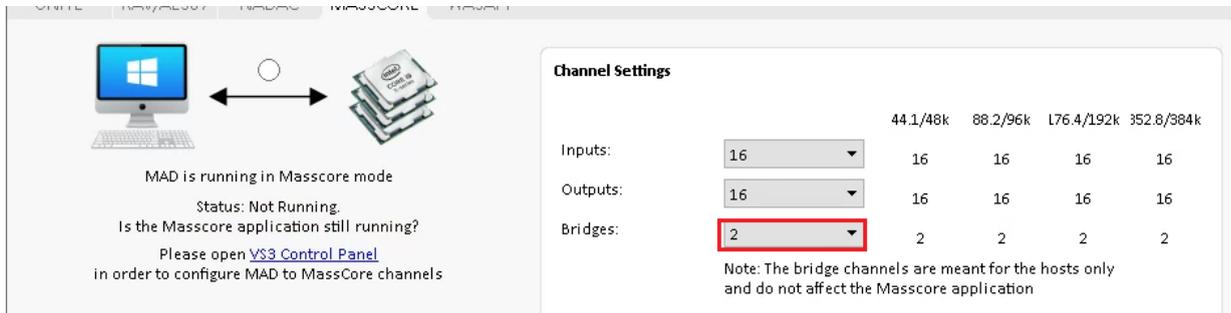
- **foobar** では DSDデータはPCMとして再生されます。
- **MAD** は **MassCore** システムでは **MassCore** モード のみでしか動作しません。そのため **MAD** は **Pyramix** が起動していないと動作しません。
- あらかじめ、DXDモード時に モニターパネル 経由で音が聴ける様に設定してください。

Pyramix 側の設定 (1~2は **Pyramix** は起動していない状態で行ってください)

1. コントロールパネル > **VS3 Control Panel** を開き、**Audio Bridge** 部分を次の図の様に設定し、**OK** で閉じます。



2. 次に **MAD Panel** を開き、**Advanced Settings** を開き、**Bridge** を“2” に設定します(ステレオ時)。

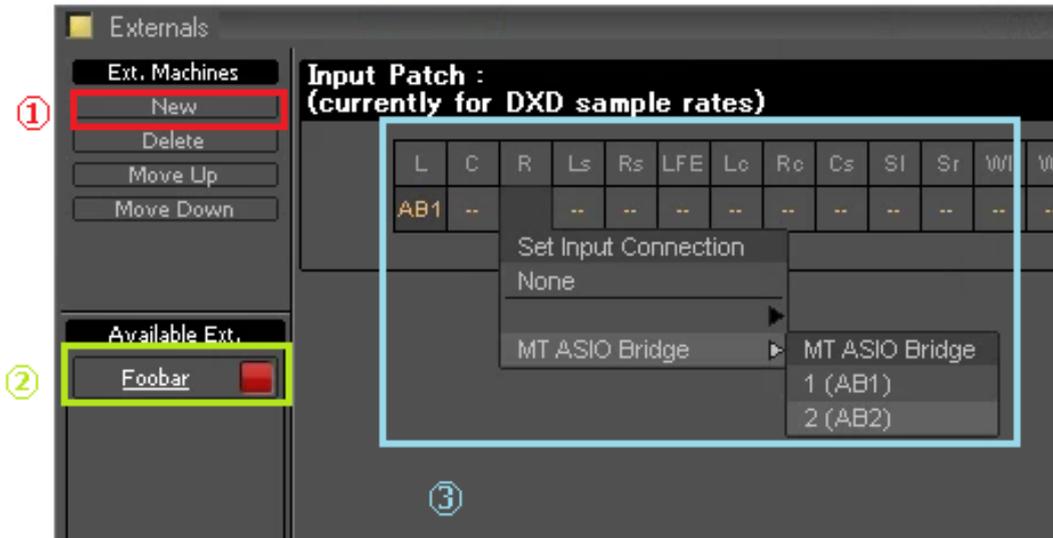


3. **Pyramix** を起動して、**DXD** プロジェクトを開きます。
4. **Monitor** パネルを開きます。

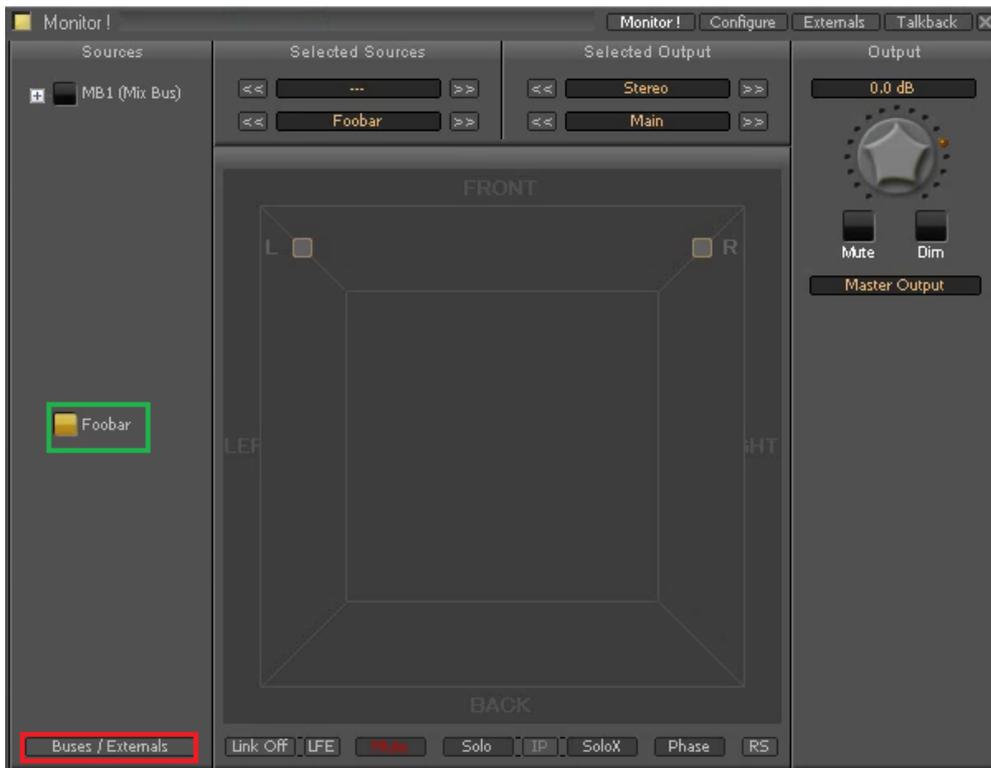




5. ① **Ext. Machine** を開き、“**New**” をクリックして新しいマシンを作成してください。
- ② 適当な名前を付けます(この例では“**Foo**bar”と名付けています)。
- ③ その入力を **MT ASIO Bridge** の 1(**AB1**) と 2(**AB2**) に割り振ります。



6. “**Monitor !**” をクリックして **Monitor** パネルに戻り、
7. 左下の “**Busses**” を2回クリックして “**Busses / Externals**” に表示を変え、
8. “**Foo**bar” をクリックで選択しておきます。



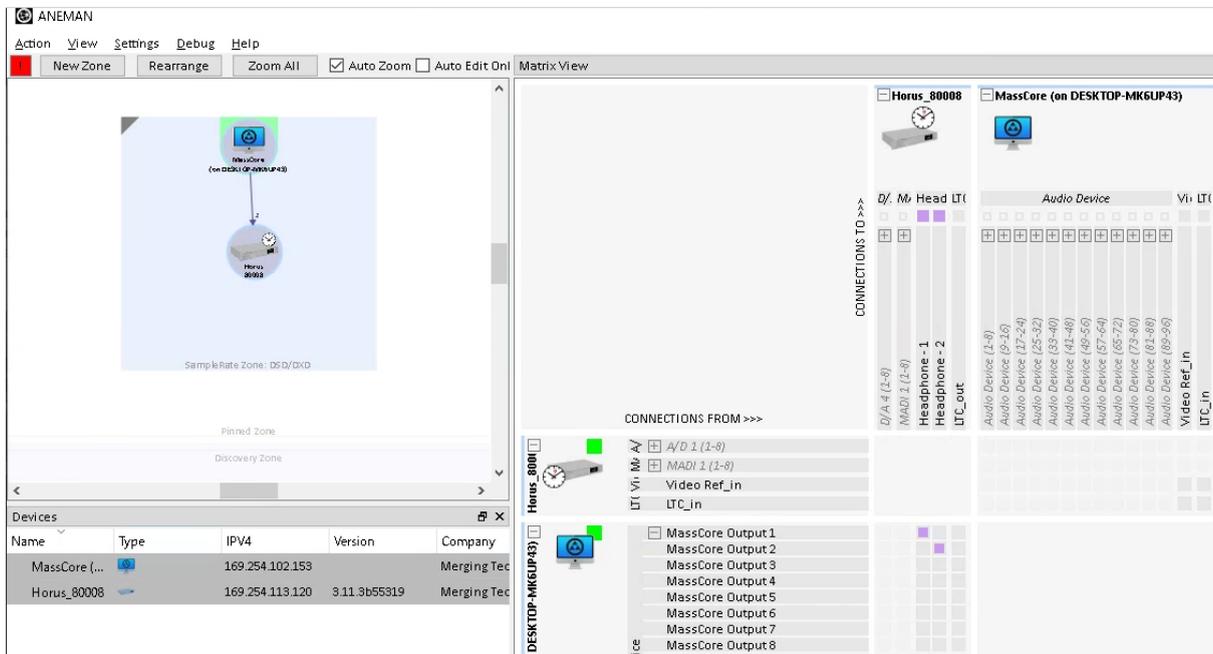
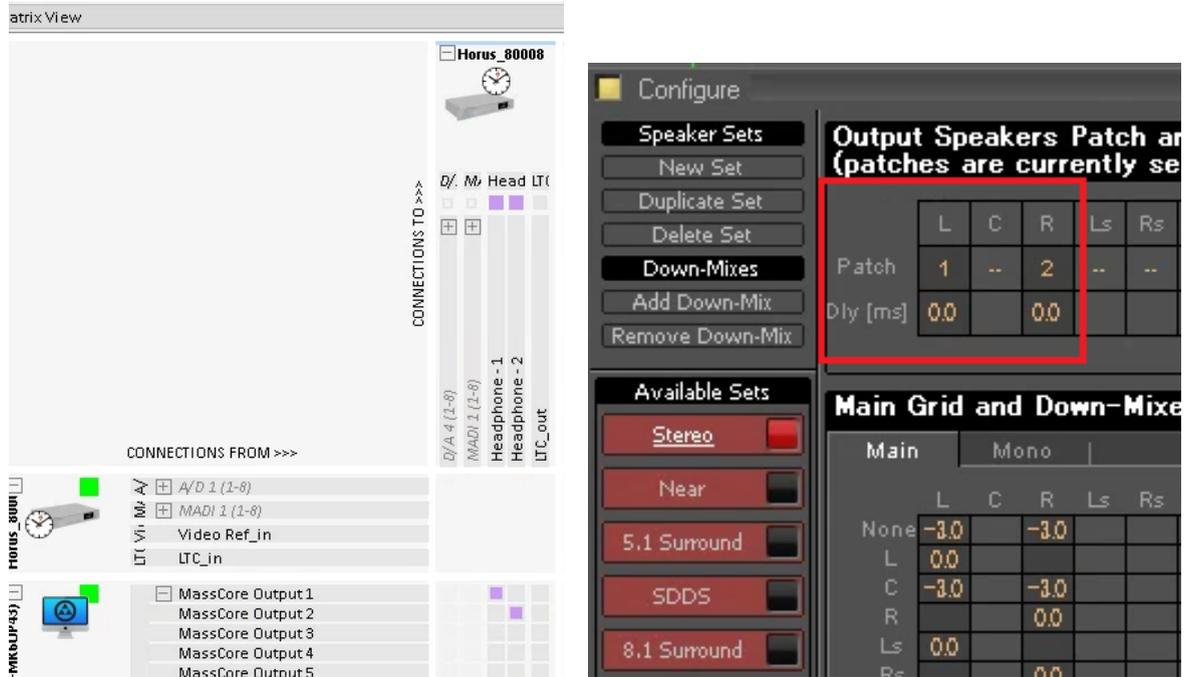
9. モニターボリュームをある程度上げておくことを忘れないでください。



注意 1

DXD モードで、プロジェクトの音を Monitor パネルから音を聴くには、Monitor パネルの Configure で正しくスピーカーに接続された回線を設定しておく必要があります。

下図の例では、MassCore Output 1/2 を Horus の HP に接続しています。





注意 2

Mixer の Output は、Monitor パネル で使用する回線に重複して割り当てないようにしてください。

① Mixer の Buss Output の数字が無い、または ② 別の数字にアサインされている ようにしてください。

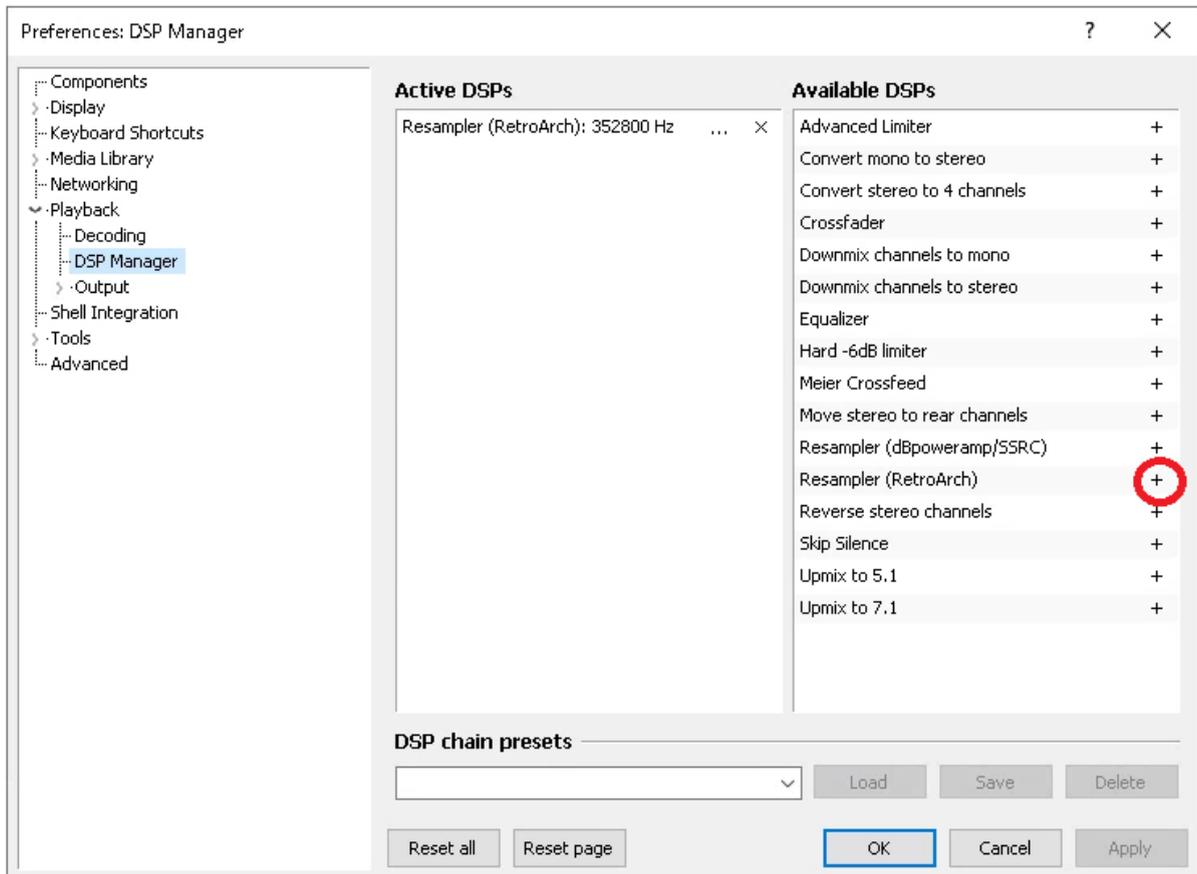
この ③ 数字がオレンジ色の場合、回線が重複してアサインされていることを示します。

① Mixer の出力がどこにもアサインされていない例	② Mixer の出力が別の回線にアサインされている例	③ Mixer の出力が重複してアサインされている例
<p style="text-align: center;">○</p>  <p>Mixer panel screenshot showing 'Mix Bus' output not assigned to any line. The 'Stereo' section shows 'L:' and 'R:' outputs.</p>	<p style="text-align: center;">○</p>  <p>Mixer panel screenshot showing 'Mix Bus' output assigned to line 9. The 'Stereo' section shows 'L: 9' and 'R: 10' outputs.</p>	<p style="text-align: center;">✖</p>  <p>Mixer panel screenshot showing 'Mix Bus' output assigned to lines 1 and 2. The 'Stereo' section shows 'L: 1' and 'R: 2' outputs in orange.</p>

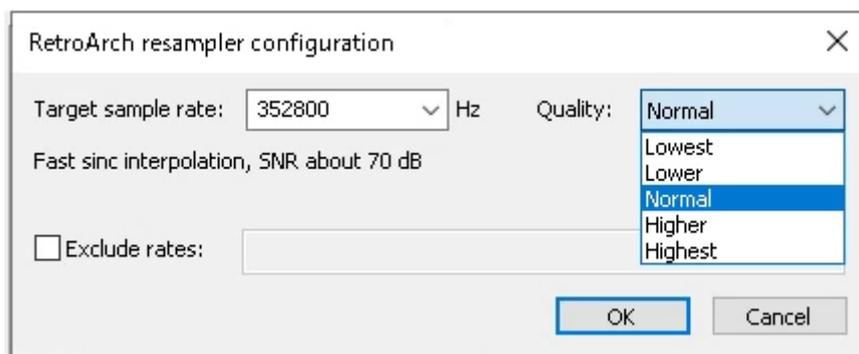


Foobar 側の設定

1. **Foobar** を起動します (Pyramix は起動したままにしておいてください)。
2. **File > Preference** を開きます。
3. **Playback > DSP Manager** を開きます。
4. 右欄の **Resample (Retro Arch)** の “+” をクリックして、左欄に表示させます。



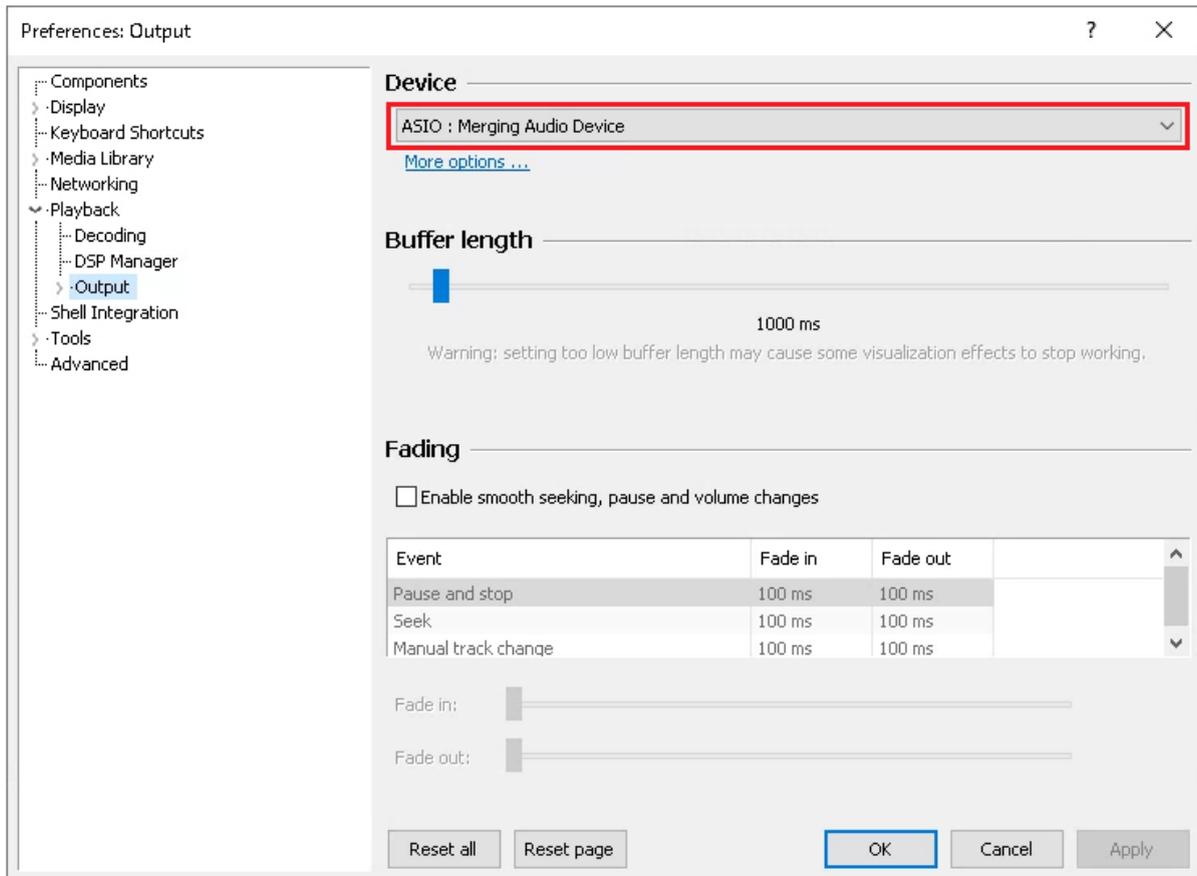
5. 左欄に入った “**Resample (Retro Arch)**” をダブルクリックして、**Configuration** を表示させます。
6. **Target sample rate** を DXD の **352800** に設定します (“**Quality:** “ は適当に設定してください)。



7. **OK** で閉じます。



- 次に、その下にある“Output”をクリックして開きます。
- Device の欄に“ASIO : Merging Audio Device”を選択します。



- OK で Preference を閉じます。

以上の設定で、Foobar の Playlist に入れた DSD 音源を Merging社製 DAC で視聴することができます。